

取り扱い説明書

ソーラー電波デジタル用

40kHz / 60kHz
取説No.G-TCH16c

この度はお買い上げ頂き誠にありがとうございます。お客様の選ばれた時計を末永く御愛用頂ける様に、この取り扱い説明書をよくお読み頂き、正しくお使いいただけますようお願い申し上げます。なお、この保証書はお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

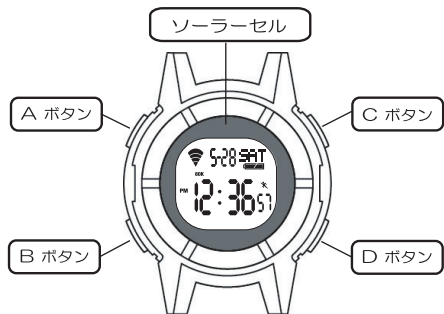
十分に光を当ててご使用ください。

※本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。安定してお使い頂く為には、本機のソーラーセルに光が当たるようにしてお使いください。

ボタンと表示/モード

※図は一例です。

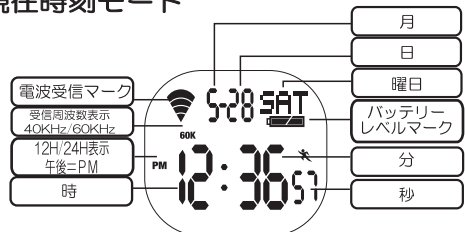
本説明書中に出てくる各ボタンは、下の図を参照してください。ケースのデザインや色はモデルによって異なります。また、モデルにより多少機能が異なる場合があります。



・Bボタンを押すごとに、モードを以下の様に変更出来ます。最初の画面は「現在時刻」モードです。(モードを変えてしばらく操作をしないと、自動で現在時刻モードに戻ります)



■現在時刻モード



時刻設定

■自動受信について

この時計は毎日3回、0:00AM、4:00AM、6:00PMに自動的に電波受信を行ない、時刻を合わせます。まず、40kHzの受信を試みます。受信に失敗した場合は、3~5分以内に60kHzの受信に移ります。一度受信に成功すると、その日はそれ以上の自動受信を行ないません。受信をすると、電波受信マークが表示されます。

※自動受信のオン・オフの切替は出来ません。

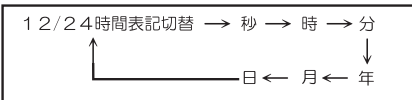


■手動電波受信による時刻設定

1. Bボタンを押して現在時刻モードにしてください。 ※曜日の表示がされている画面です。
2. Cボタンを約2秒間押しすと電波受信を開始します。(40kHzから受信を試み、次に60kHzの受信へと移ります。)電波受信中は、電波受信マークが点滅します。受信に成功すると、電波受信マークが表示されます。受信を止めたい時はCボタンを長押しします。

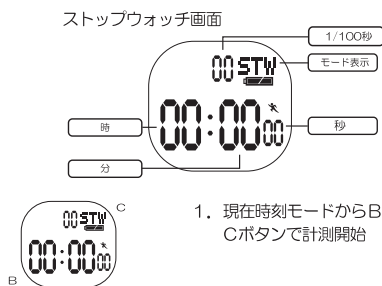
■手動による時刻設定

1. Bボタンを押して現在時刻モードにしてください。 ※曜日の表示がされている画面です。
 2. Dボタンを約2秒間長押しする Cボタンを押して24時間表示か12時間表示かを選びます。
 3. Bボタンを押す Cボタンを押すと、秒が0に戻ります。
 4. Bボタンを押す Cボタンで時間設定 (長押し: 早送り)
 5. Bボタンを押す Cボタンで分設定 (長押し: 早送り)
 6. Bボタンを押す Cボタンで年設定 (長押し: 早送り)
 7. Bボタンを押す Cボタンで月設定 (長押し: 早送り)
- ※曜日は日付に隣連し、自動調整されます。
- Bボタンで12/24設定に戻ります。
Dボタンで時刻設定終了です。



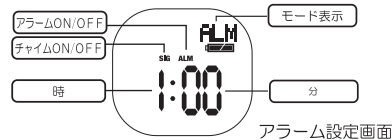
ストップウォッチの使い方

※ストップウォッチは最大で23時間59分59秒計測出来ます。それを超えると0に戻り、計測をし直します。



2. Dボタンで画面がストップ ボタンを押した時の時間を見る事ができます。(計測は続いています。) その間、画面にはSPLという文字が表示されます。(Dボタンで計測再開)
 3. Cボタンで計測をストップ Dボタンで記録リセット
- ※途中経過の時間を見る必要が無い場合は2の手順を省略してください。

アラームの使い方



■アラーム時刻設定

1. 現在時刻モードからBボタンを2回押す Dボタンを約2秒間長押しする Cボタンで時間設定 (長押し: 早送り)
2. Bボタンを押す Cボタンで分設定 (長押し: 早送り) Dボタンで確定

■アラームのオン・オフ

1. 現在時刻モードからBボタンを2回押す
2. Cボタンを押してアラームのオン・オフを切り替え出来ます。オンの時は画面に「ALM」と表示されます。アラームが鳴った際、この「ALM」が点滅します。どのボタンを押してもアラームを止める事ができます。

■チャイム(時報)設定

アラーム設定画面で、何回かCボタンを押すと「SIG」の表示が出てきます。この表示が出ている時は、時報が鳴ります。時報を鳴らしたくない場合は、アラーム設定画面でCボタンを押していき、「SIG」表示を消してください。



カウントダウンタイマーの使い方

最大計測23時間59分

1. 現在時刻モードからBボタンを3回押す Dボタンを約2秒間長押しする Cボタンで時間設定。(長押し: 早送り)
 2. Bボタンを押す Cボタンで分設定 (長押し: 早送り) Dボタンで設定を確定 Cボタンでカウントダウン開始
- ※アラームは約30秒間鳴ります。どのボタンを押しても止める事が出来ます。 ※設定後、Cボタンでスタート・ストップが出来ます。

デュアルタイム(第二時間)

普段、主に使われる現在時刻とは別に任意の時間を設定する事が出来る機能です。海外旅行や海外ビジネスに便利です。

ロンドンのグリニッジ標準時 (GMT) を基準とし、海外等の時差のある場所の時刻を設定することが出来ます。下記のグリニッジ標準時を基準としたGMTタイムゾーン一覧表を参考にして時差を設定してください。

<GMTタイムゾーン一覧表>

GMTとの時差	都市名・地域
+12h	ニュージーランド
+10h	シドニー、ブリスベン、キャンベラ、メルボルン
+9h30m	ダーウィン、アデレード
+9h	日本、韓国
+8h	マレーシア、シンガポール、中国、フィリピン、パース
+7h	タイ、ベトナム
+5h30m	インド
+3h	モスクワ
+2h	東ヨーロッパ地域標準時
+1h	中央ヨーロッパ地域標準時
+0h	グリニッジ標準時 東ヨーロッパ地域標準時
-3h	アルゼンチン
-4h	ヴェネズエラ、チリ
-5h	アメリカ東海岸標準時
-6h	アメリカ中央部標準時
-7h	アメリカ山岳部標準時
-8h	アメリカ西海岸標準時
-9h	アラスカ
-10h	ハワイ

(日本は、GMTから見て+9時間の時差があります。)

-
1. 現在時刻モードからBボタンを4回押す (右上に「DT」と表示されます。)
 2. 時差を設定します。 Dボタンを2秒間長押し +/- が点滅 Cボタンで +/- を選択
- Bボタンで数字が点滅
Cボタンで設定
Dボタンで確定

リセット機能について

A、B、C、Dボタン全てを同時に押しすと、全ての機能がリセットされ、初期画面に戻ります。

※この操作は取り扱い説明書通りに操作が出来なくなった時のみ使用してください。



